（例1　（開削工法））

施工説明書

|  |
| --- |
|  |

　（工事件名）

掘削断面図

（Ａ４タテ）

（注）１　工事と調査物件との位置を明示する。

２　調査対象物件の図に、事後調査一覧表の整理番号及び物件所有者名を記載する。

３　外構（門・柵・塀）がある場合は、その位置も記載する。

４　調査対象物件の配置に沿った図にすること。（同じ図を使用し、数値等だけを変更

しないこと）

　掘削深さ、掘削幅、官民境界までの距離は縮尺を整合させる

５　掘削断面図には、掘削床付け位置から影響線を表示し、その影響角度を記入する。（例：４５°、５０°、５５°、６０°など）

　　　６　基礎のない場合の記載例

500mm㎜

　　７　内面被覆工法の場合は、管底深さ、下水道管の占用距離、建物から官民境

界までの距離を表記する。

８　断面図に表示する建物は、下水道管の下流に向かって表示する。（右、左）